

## 『お金の地産地消白書 2017』製作委員会と『白書 2017』の概要

## 『お金の地産地消白書 2017』製作委員会の概要

## ●参加機関（9機関）

- ・行政：愛知県、名古屋市（市民活動推進センター）
- ・コミュニティ財団：公益財団法人あいちコミュニティ財団
- ・NPOバンク：コミュニティ・ユース・バンク momo（事務局）
- ・（地域）金融機関：瀬戸信用金庫、東海労働金庫、東濃信用金庫、株式会社日本政策金融公庫、飛騨信用組合

## ●製作メンバー（10名）

- ・本委員会に参加する各（地域）金融機関から出張参加（月に1日以上）する職員5名
- ・momoやあいちコミュニティ財団でのボランティア経験が豊富なプロボノ5名

## ●製作期間 2017年8月～2018年1月の半年間

## ●製作内容 白書の企画、データ収集・分析、取材、記録、テープ起こし、原稿執筆・校正、写真撮影・選定など

## 『白書 2017』の概要

## ●目的

地域の課題解決に地域の“志金”を生かす「お金の地産地消」のさらなる推進をめざして、愛知・岐阜・三重県内の協同組織金融機関に対するアンケートや、先行事例へのヒアリング等を通して、「人口減・収益減の未来に、信金・信組・労金ができること」を明らかにする

## ●概要

（1）発行部数：5,000部（予定） （2）発行日：2018年2月中旬（予定）

（3）版型：A4変形サイズ（カラー／52ページを想定）

※全国の協同組織金融機関に配布するほか、1冊1,000円（税別）で販売予定

## ●ページ構成（案）

【第1章】人口減・収益減の未来に、信金・信組・労金が本気で備えなければいけない理由

【第2章】愛知・岐阜・三重県内の信金・信組・労金に対するアンケート結果と分析

【第3章】「共通価値の創造」の課題

・坂本忠弘さん（地域共創ネットワーク株式会社 代表取締役）

【第4章】「共通価値の創造」の先行事例

・新井和宏さん（鎌倉投信株式会社 取締役・資産運用部長）

・江上広行さん（株式会社電通国際情報サービス）

・小淵康博さん（西武信用金庫）

・榊田隆之さん（京都信用金庫 専務理事）

・新田信行さん（第一勧業信用組合 理事長）

・早瀬昇さん（社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事）

・松井孝憲さん（NPO法人二枚目の名刺 理事・ディレクター）

【第5章】人口減・収益減の未来に、信金・信組・労金ができること

※今回の白書製作にかかる費用は、クラウドファンディングでの“志金”調達を2017年11月10日（金）～12月29日（金）の50日間で実施する予定です。



お金の地産地消白書 2014